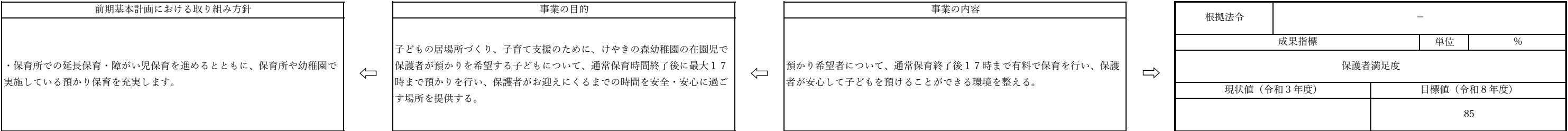


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野		教育		政策	安心な子育て環境をつくる	施策	⑤保育運営の充実		
実施年度	令和	6	年度	予算科目	会計	款	項	目	継続	事業名	幼稚園預かり保育事業	担当課	教育課	
					1	10	4	1				担当者	田実 真一	

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度							
Plan (計画)	預かり保育事業を民間委託するにあたって、今までの運営を引き続き行えるように準備をする。			民間に委託し、今後も課題が出てくると予想される。幼稚園・委託業者と協議を行い、利用者のニーズに沿った運営を行う必要がある。			幼稚園・委託業者と連携し、保護者のニーズに沿った運営を行う。			幼稚園・委託業者と連携し、保護者のニーズに沿った運営を行う。										
Do (実行)	令和5年度から民間委託するため、業者選定のプロポーザルを実施し、決定業者と綿密に協議を重ね、4月からの運用を開始した。			令和5年度から事業の民間委託を行い、効率化・円滑化を図った。結果として、幼稚園内部の事務負担は軽減され、また事業者が導入したアプリ等により保護者の連絡も容易となり、円滑な運営を行うことができている。			令和6年度からは、長期休業中の預かり開始時刻を30分早めて8時30分からの預かりに変更したことや、預かり保育を行う日程を昨年度から7日を増やしたことにより、働く保護者が安心して子供を預けられるような事業となるよう、運用の改善を行った。													
活動実績	預かり保育実施日数			預かり保育実施日数			預かり保育実施日数			預かり保育実施日数										
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値					
	日	220	217	日	220	229	日	220	236	日	220									
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値					
成果指標	保護者満足度			保護者満足度			保護者満足度			保護者満足度			保護者満足度							
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値					
	%	85	85	%	85	96	%	85	97	%	85		%	85						
Check (評価)	C	近隣の自治体では公立幼稚園への入園者数が大幅に減少しており、閉園や統合が相次いでいるが、けやきの森幼稚園では入園者の減少幅が大きい。当事業を行うことで、ある程度の入園者の確保ができていると考えられる。令和3年度については、コロナ禍において預ける人数が減少したが、本来のニーズは高く、子育て支援策として継続していく必要がある。		B	高い保護者満足が得られており、今後も継続していく必要がある。しかし、依然として幼稚園の入園者数は減少傾向にある。今後、働く保護者がより利用しやすい制度となるよう工夫を行う必要がある。		A	高い保護者満足が得られており、今後も運用の改善を継続していく必要がある。												
Action (改善)	子育て支援の観点から必要な事業であるが、保育者の不足や内容の充実などに問題があるため、民間委託を行う準備を進めた。			働く保護者が安心して子供を預けられるよう、開所時間や開所日数について、より柔軟に対応していく必要がある。			昨年度に引き続き、働く保護者が安心して子供を預けられるよう、開所時間や開所日数について、より柔軟に対応していく必要がある。													
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費（歳出）	11532	(千円)	9320	(千円)	15255	(千円)	13568	(千円)	15,255	(千円)	14,075	(千円)	15,469	(千円)		(千円)		(千円)		
事業費財源	2160		2160		2160		4671		4788		5412		4788		0		0		0	
	特定		2160		2160		4671		4,788		5,412		4,788							
	地方債																			
	一般																			
人件費	1579.6		1344.4		1509		0		1494.2		1459.8		1553.4		0		0		0	
	人員数		0.2		0.2		0.2		0.2		0.2		0.2							
	人件費単価		7,898		6,722		7,545		7,471		7,299		7,767							
事業費合計	13,112		10,664		16,764		13,568		16,749		15,535		17,022		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	1,184.725	円	919.991	円	1,568.299	円	955.434	円	1,284.493	円	1,087.070	円	1,313.832	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和6年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
健康福祉2-5-24	幼稚園預かり保育事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価

評価者

田実 真一

5 大 小 1 ↓

1. 最も必要な事業か？	評点	判定
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
評価理由		
2. 町が実施する必要があるか？		
町が実施主体となることが法令等により定められている。	○	A
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
評価理由		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
事業の手法・活動内容は適切である。	5	
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
評価理由		
②効率性		
事業費に見合った成果を上げている。	5	A
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
評価理由		
③公平性・透明性		
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	
評価理由		

今後の方向性	改善・見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> S重点化	成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である
<input checked="" type="checkbox"/> A推進	計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である
<input type="checkbox"/> B改善	計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある
<input type="checkbox"/> C見直し	計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある
<input type="checkbox"/> D廃止	事業の廃止を検討する必要がある
<input type="checkbox"/> E事業完了	事業完了とする

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

預かり保育のニーズは年々高まっており、働く保護者にとって預け先が保育所だけでなく、公立幼稚園も選択肢の一つとしての認知が広がっている。しかし、保育園では定員を超える申込があっていることに対し、幼稚園の入園者数は横ばいとなっている。

令和5年度から預かり保育の運営の民間委託を行っているところであるが、非常に高い保護者満足度が得られている。今後は、働く保護者にとって「幼稚園」が園児の預け先の候補となるよう、より利用し易い運営を目指し、事業の改善を行って行くことが必要である。

CHECK(評価)

No.2

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価

評価者

小森 真奈美

5 大 小 1 ↓

1. 最も必要な事業か？	評点	判定
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
評価理由		
現在の町内の子育て世代の状況から見て、共働きの家庭も増えてきており、預かり保育のニーズは高まっており、また、幼稚園経営としても付加価値となり、入園者増につながる見込みがある為必要な事業である		
2. 町が実施する必要があるか？		
町が実施主体となることが法令等により定められている。	-	B
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
評価理由		
共働きの家庭が増えてきており、預かり保育のニーズは高く、子育て支援として事業を実施する必要性は高い。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	A
事業の手法・活動内容は適切である。	5	
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
評価理由		
民間委託をすることにより、保育時間の延長にも対応でき、共働き家庭の就労と子育て両面の支援の観点から有効である。		
②効率性		
事業費に見合った成果を上げている。	4	A
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
評価理由		
民間委託をすることにより、保育時間の延長にも対応でき、共働き家庭の就労と子育て両面の支援の観点から効果的である。		
③公平性・透明性		
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	
評価理由		
事業について町ホームページに掲載しており公平性は確保している。		

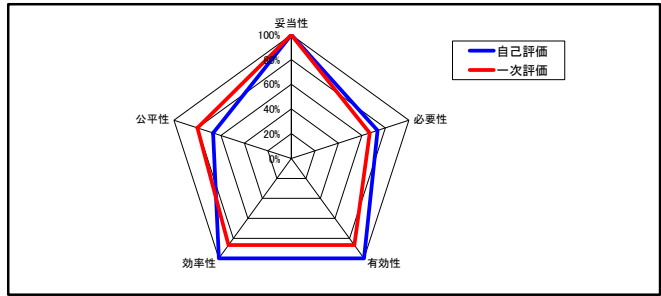
今後の方向性	改善・見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> S重点化	成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である
<input checked="" type="checkbox"/> A推進	計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である
<input type="checkbox"/> B改善	計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある
<input type="checkbox"/> C見直し	計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある
<input type="checkbox"/> D廃止	事業の廃止を検討する必要がある
<input type="checkbox"/> E事業完了	事業完了とする

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

近隣の自治体では公立幼稚園への入園者数が大幅に減少しており、閉園や統合が相次いでいる。けやきの森幼稚園の入園者数に関しても、素観察で見るものではないが、当事業を行うことで、ある程度の入園者の確保ができると考えられる。就労する保護者が増える中、ニーズは高く、子育て支援策として継続していく必要がある。

今後、受託事業者と連携し、保護者のニーズを捕らえながら運営していく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

No.3

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価

評価者

選択してください

☐ S以下の点について、成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である

☐ A以下の点について、計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である

幼稚園の継続のためにも預かり保育は必要である。子育て支援の面でも大きな成果となっており、内容も指定管理者が工夫をしている。

☐ B計画通り進んでいるが、以下の課題を解決するため、実施方法の改善を検討する必要がある

☐ C計画どおり進んでおらず、以下の課題を解決するため、実施方法を見直す必要がある

☐ E事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする

☐ 事業の目的を達成し、事業完了したと判断する

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定

ACTION(評価・改善)

No.4

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性

改善・見直しの具体的内容

☐ S重点化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である | ☒ 実施方法の工夫 |

☐ A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である | ☐ 事業の効率化 |

☒ B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある | ☐ 受益者負担の適正化 |

☐ C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある | ☒ 事業縮小(見直し時のみ選択) |

☐ D廃止 事業の廃止を検討する必要がある | ☐ その他 |

☐ E事業完了 事業完了とする | ( ) |

評価

B

外部評価委員会の意見

町の子ども的人数が減少する中で、幼稚園の魅力を高めるとともに、利用者満足度を向上させるために重要な事業である。

一方、アンケート結果から、預かり時間における遊びの工夫や預かり職員への相談のしやすさ、保護者の声を反映する仕組み等に課題があることが明確で、その改善が求められる。

こうした課題に対応するため、地域住民との交流を取り入れた遊びの工夫等町ならではの取り組みが期待されるほか、アンケート内容の見直し、運営協議会の体制の見直し、預かり保育での子どもの様子を報告する機会の充実等、コミュニケーションの強化が求められる。

経営者会議

経営者評価

今後の方向性

改善・見直しの具体的内容

☐ S重点化 成果が十分出ており、更なる事業の発展を図ることが適当である | ☒ 実施方法の工夫 |

☐ A推進 計画通り進んでおり、このまま事業を充実させることが適当である | ☐ 事業の効率化 |

☒ B改善 計画通り進んでいるが、実施方法の改善を検討する必要がある | ☐ 受益者負担の適正化 |

☐ C見直し 計画どおり進んでおらず、実施方法を見直す必要がある | ☒ 事業縮小(見直し時のみ選択) |

☐ D廃止 事業の廃止を検討する必要がある | ☐ その他 |

☐ E事業完了 事業完了とする | (指標の見直し) |

評価

B

経営者会議の評価

本事業を含め、町として多様な保育環境や柔軟な預かり制度を整えることは、特色ある幼稚園教育の魅力を高めるだけでなく、若い世代の移住・定住希望者の増加にもつながる。

本事業をより良いものとするためには、保護者のニーズや子どもの声を把握し、運営に反映させることが重要であるが、運営協議会については働く保護者の負担が増えることを考えると難しい。そのため今後は、事業者アンケートを補完する意味で、町もアンケートを実施することで幅広く利用者の声を収集し、事業運営に活かしていきたい。

また、遊びの工夫や預かり職員への相談体制の強化については、委託業者と協議し、改善に向けてできることがないか模索すると共に、令和8年度以降の新たな事業者選定においても重視し、質の高い保育環境の整備を進める。

あわせて、本事業のPRのためのHPやリーフレットの作成などを検討する。

令和8年度予算要求事項(今後の取り組み)

共働きの家庭が増えてきており、子育て支援としてニーズの高い事業であり、幼稚園経営の付加価値ともなるものである。

利用者満足度の高い事業であるが、満足度をさらに高めるため事業者アンケートとは別に町もアンケートを実施する予定である。

遊びの工夫や預かり職員への相談体制の強化については、事業者選定において評価点とすることも含め、事業者と協議し改善に努める。

また、事業のPRのためのHPやリーフレットの作成などを検討する。